

8th SANT : Summary Report of BCS BUFFALOES

予選Aリーグ 1勝 07/Oct/11 10:05-

	1	2	3	4	total
BCS Buffl @s	2	0	7	1X	10
Indonesia	0	0	2		2

Kosuke 1, Ryo 1, Shinsuke 1 - Shinsuke, Kai

予選Aリーグ 1勝1敗 07/Oct/11 14:55-

	1	2	3	4	total
BCS Buffl @s	0	0	0	0	0
Machida Red Fires	0	0	7	0	7

Kosuke 3(0/3), Ryo 1(2/3) - Shinsuke

予選Aリーグ 2勝1敗 08/Oct/11 10:35-

	1	2	3	4	total
BCS Buffl @s	1	7	2	6	16
KL Harimau	0	0	0	0	0

Kosuke 2, Ryo 2 - Shinsuke

予選Aリーグ 3勝1敗 08/Oct/11 15:30-

	1	2	3	4	total
BCS Buffl @s	0	2	1	7	10
MacPherson	0	0	0	1	1

Kosuke 2, Ryo 2 - Shinsuke

準決勝 09/Oct/11 10:50-

	1	2	3	4	total
BCS Buffl @s	0	2	0	1	3
Bangkok Thunders	0	0	0	0	0

Kosuke 3, Ryo 1 - Shinsuke

決勝戦 09/Oct/11 14:50-

	1	2	3	4	5	6	total
BCS Buffl @s	0	0	0	0	0	0	0
Machida Red Fires	0	0	0	2	2	0	4

Ryo 4(2/3), Kosuke (1/3), Ryo 1- Shinsuke

決勝戦 VS Machida RF

この大会で、日本の本当に強いチーム Machida RFさん (10/16現在公式戦46戦勝率89.1)と、それも大会中に2試合もさせて頂いた事、我々のチームは幸せだと思います。色々感じた事を今後必ず実践して下さい。(※ 木下 RF監督からお礼文添付)

負傷明けで心配された投手⑥、直ったのはチームメイト皆が、君の回復を願って待っていたから。満を持しての登板。両チーム初回0点も、RF2/3番にねばられファールボールを出すも、②連続して盗塁を刺す(見事!)。その後ゲームがランナーも出ず、膠着した中、4回裏に動く、2アウト後RF4番の強烈なレフト線2ベース後5番のサードゴロを慎重に載きチェンジと思ったが、ファーストが落球(目を切るのが早かった)。その後この場面で、6番にきっちり外野に運ばれ2点失う。その中でも、守備では魅せました。2回裏⑧が左中間の深いボールを好捕。5回裏キャプテン⑩好判断によるサードゲッツで追加点阻止。スクイズも決められ0-4でゲームセット。

各国から来て頂いた様々な相手と対戦出来たこと、また決勝まで駒を進める事が出来た経験を持つ君たちは、幸せだと思う。今の環境、シニアチームメイトに感謝し、今回経験できた事を糧に、さらに "一つ上の野球"を目指し、後半戦、心・体・技を鍛えて行こう!

VS Indonesia

このチームでは、今年初の初戦。負傷欠場が心配された⑥も大会に間に合う。

初回キャプテン⑩の四球を皮切りに、相手に付けこみたい所。しかし、②の飛び出しもあり2点止まり。試合の入り方、特に初戦、その大会を左右するので、怠ることなく確立の高いプレーをしてもらいたい。今後への反省材料。2回は、レフトへの難しいフライを⑦が好捕。このプレーでこちらに流れが一気に。3回以降は、確実に点数を重ねる。

VS Machida RF

長い間、このチームを見ていますが、チーム初めての出来事に遭遇する。

1回両チーム3者凡退。2回表、①のレフト前ヒットを皮切りに④の進塁打で3塁まで行くも、サインミスもあり得点なし。2回裏、1本のヒットと2ファールボールで同じく3塁まで許すも、WPをホームタッチアウトで一矢報いる。3回裏、相手の当たりが次第に強くなる。エラーをきっかけに、足を絡められ、守備が動いたところにきれいに打たれたり、レフトにきっちり運ばれ、**気がつけば7点**。このような展開は、このチームにとって初めての出来事で、ひとつ上の質の高い野球を間近で見て唖然とする選手をどうにも流れを止める事が出来なかった。ゴメンな。

試合後涙する選手もいたが、この貴重な経験、悔しさを生かそう! もう一回決勝で対戦できるよう、全員で再起を誓って翌日に。

VS KL Harimau

トスを勝ち続けるキャプテン⑩の『ドヤ顔』、実は本番型やった?

投手への課題は、無駄のない投球。打者へは、前に突っ込まない。

初回、②のセンター前ヒット、キャプテン⑩の2塁打で先制が、後続が続かず。2回表は、⑤のライト前ヒットを皮切りに2ファールボールを含む6連打。最後は投手⑥のget twoで終了。打撃は、⑦⑧そろい踏みで、3-3。その後も(成長)カブ③の大飛球を含み得点を重ね、昨日の反省点と今日の課題を実践。

VS MacPherson

リズムの良くストライクをポンポン投げる投手に手こずり初回0点。

しかし、ボールも見極め、強いスイングもしているので後半に動く我々の試合。4回表にいてまえ打線爆発。3勝1敗、Aグループ2位で予選リーグ通過。

VS Bangkok Thunders

どんな大会でも、準決・決勝は、独特の雰囲気がある。その興奮するような状況を選手には一つでも多く味わってもらいたい、と思っています。それは、今後君達の成功体験として、前へ進むための原動力になるから。絶対負けられない一戦。それは相手も同じ。相手は、

例年通り、低い姿勢から確実な守備でまとめられたBグループ一位 Bangkok Thundersさん。

当方は、この当たりからいつも②のプレーが格段に良くなる。相手投手は、ゆっくりとしたフォームから、ズドンと重いボールを投げてくる。初回両者無得点。2回表、④のシブい内野安打後盗塁で3塁。⑤のスクイズ失敗で飛び出した④が必死のバッチで逃げまくる。相手のミスを誘い執念の先取点。気分を入替え⑤も、指示に答え内野安打。3塁まで進塁し、この頃守備のリズムが生まれてきた⑧が、セカンドへチームバッティングで追加点。⑦センター前、⑪アウト後、⑥DB、2アウトランナー1.2塁。ここで②に打撃指示。それにきっちり応え、左前安で満塁。投手交代後3アウトになるも、失敗後ズルズル行かず、踏ん張り、いつも言うさく言う自分で"チームを感じる"を会得し、選手が成長したイニングだった。①もバックに助けられ、②のナイスブロックもあり、3回裏まで36球で無失点。4回表もドラマが。⑧遊安、無心⑦中安、⑪二ゴロの間に、ホーム突入で2人アウトになる。嫌な流れの中、小気味のよさでサードまで来た⑪は、そのまま、スライディングもせずスルスルとホームも落とし入れ追加点で選手もベンチもビックリ!これも彼が感じた結果。⑩くん、またこの辺を練習しましょう! 4回裏も、投手⑥がランナーを出すも、しっかり押さえた実りある一戦で、いざ決勝へ。



13-Oct-11

Buffaloes, Dragons 選手 の皆さん、BCSスタッフ、ご父兄の皆様へ

シンガポールでは、選手共々大変お世話になり有難うございました。心から御礼申し上げます。
町田レッドファイヤーズとして海外での国際大会に参加できたことは、選手達にとっても間違いなく貴重な経験となり、今後の彼等の野球人生において最高の思い出の一つとなりました。ありがとうございます。

Buffaloes の印象、初めて見た時、"これは、あなどれない" でした。
この大会が、今年の初公式戦と聞き驚きましたが、本当に良く鍛えられていると思います。
監督・コーチが言われる、守備の"基礎を大切に" は、君たちが海外で、日本でこれから野球を続ける時、きっと役立つことだと思います。
そして、それをしっかり実践していました。
打撃のインパクトも君たちは、レベルスイングで本当に強く叩く事が出来ていました。
野球センスのある選手も多く、チームとしても大きな可能性を感じました。

仮にBuffaloes が東京都の大会に参加した場合、十分上位チームと互角に戦えると思います。
試合数に限度はあると思いますが、今の環境に感謝しながら、"ひとつ上の野球" を目指してお互い努力しましょう。
一つの頂点を目指し、選手同士がどこかの試合会場で会える日を楽しみにしています。

最後に、今回の日本チームが素晴らしい海外遠征を過ごせたのもBCSスタッフ、父兄の皆様のお陰でございます。
1週間本当にありがとうございました。では、またどこかで・・・。

町田レッドファイヤーズ6年生チーム監督 木下光正